

## ロシア沿海地方

州都……ウラジオストク  
面積……約16万5900km<sup>2</sup>  
(日本の約4割の広さ)  
人口……約206万人(2002年)  
民族……ロシア人87%、  
ウクライナ人8%、  
白ロシア人1%ほか  
首長……セルゲイ・  
ダリキン知事



## 日本は新たな ビジネス・パートナー

旧ソ連時代、沿海地方の連邦内での位置づけは、首都モスクワなどヨーロッパロシアに資源を供給するという役割を担っていることでした。

しかし、市場経済への移行により、ヨーロッパロシアも他の国や地域から資源を輸入するようになり、今までのように何もしなくても買い手がついていた時代と異なり、沿海地方も他国・地域と競争していかなければならなくなったのです。

そこで今後は、日本との新たなビジネス・パートナーシップづくりを重視しています。現在も日本企業から沿海地方への投資が実施されていますが、さらなる関係の強化に向け、日本との対話を進めていきたいと考えています。



ウラジオストクの街並み(写真提供:北海道庁)

## 豊富な資源と地理的優位性

沿海地方はマーケットとしては小規模ですが、水産物や高級木材、鉱物資源(石炭、銀、錫ほか)などの

from the world  
世界の国  
から

# ロシア沿海地方

Primorsky Territory of Russia

## 近くて遠い 日本との関係強化を目指す

天然資源が豊富にあります。

また、日本と地理的に非常に近い位置にあることが最大の魅力といえます。資源の少ない日本は、遠方の国から石油などの物資を輸入していますが、ロシア沿海地方からの輸送はより低コストで実現できます。

大きな港もあるため、日本からの貨物を大量に輸送し、大きなマーケットであるヨーロッパロシアへの製品の輸出も期待できます。日本にとっても大きな可能性を秘めた投資先であると思います。

9月13日~10月21日までの滞在期間中に、木材加工、水産(加工・養殖を含む)、エネルギー資源分野を中心に、合計100以上のプロジェクトを紹介しました。

札幌、新潟、佐渡、富山で開催したセミナーや、企業との個別ミーティングを通じて、沿海地域の投資環境を説明し、また日露による新たな地域間協力についても話し合いをもちました。日本海側の都道府県の企業を中心に、高い関心をもっていただいたようです。

## 信頼関係の構築が大事

ただ、現状ですぐにビジネスをスタートできるというわけではなく、クリアすべき問題は多々あると思います。日露間の信頼関係の構築もそのひとつでしょう。

信頼関係を大事にし、良いビジネスを成功させている日本のビジネスマンには、学ぶべき点が多くあると



ウラジオストク港(写真)など大きな港もあり、距離も近い日本との新たなビジネス・パートナーシップが期待される

思います。また、水産資源や環境の保護に配慮しながら事業を進める日本のやり方は、他国のビジネス・パートナーにはないもので、大変注目しています。

私は大学の非常勤講師も務めており、学生に「日本とビジネスを行うにはどうしたらよいか」についても教えています。将来、両国の信頼関係が強化され、それに基づき両国の発展につながるパートナーシップが築かれることを期待しています。

セルゲイ・ペロライネン  
ウラジオストク市政府経済管理委員会副委員長  
Mr. Sergey Verolaynen  
Deputy Chairman  
Economic and Management Committee  
Vladivostok City Administration